

いわくに市議会だより シー See議会

No. 68
令和5年11月発行



紙面のQRコードをスマートフォンなどで読み込んでいただくと、より詳細な内容を御覧いただけます。

「稲刈り」

撮影場所：錦町宇佐
撮 影：匿名希望
(公募写真)

目次 (主な内容)			
9月定例会の報告	2	行政視察の報告、意見交換会の報告	9
表紙写真の公募	2	委員会審査報告	10~11
議案の賛否	3	11月臨時会、12月定例会の予定	12
一般質問	4~7	編集後記	12
議員提出議案	7~8		

定例会の報告

9月定例会は、8月28日から9月25日までの日程で開催されました。

定例会初日には、諸般の報告6件、監査報告3件、報告4件、人権擁護委員の推薦についての諮問3件、令和4年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど認定15件、令和5年度岩国市一般会計補正予算（第4号）など15議案、議員提出議案が2議案、請願が1件上程されました。

議決を要する36の案件のうち、諮問3件及び議員提出議案の2議案が可決され、認定15件、議案15件、請願1件がそれぞれ、経済常任委員会、教育民生常任委員会、建設常任委員会、総務常任委員会に付託されました。議員提出議案「岩国市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」及び「錦帯橋の日を10月1日に定める決議」は全会一致で可決されました。

一般質問は9月6日から11日までの4日間の日程で23人の議員が登壇し、「米軍岩国基地問題について」「次期市長選挙について」「次世代に引き継ぐまちづくりについて」「将来を見据えた財産管理について」等、活発

な議論が交わされました。

9月13日から19日の4日間の日程で経済、教育民生、建設、総務常任委員会が開催され、付託された議案について慎重な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会の委員長から、委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告があり、認定第1号を除く認定14件が全会一致で認定され、議案15件の全てが、全会一致で原案のとおり可決されました。認定第1号「令和4年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について」につきましては、賛成多数で認定されました。

なお、請願第2号「インボイス制度の実施中止を求める意見書を政府に送付することを求める請願」については、総務常任委員会より継続審査の申出がなされ、承認されました。続いて、議員提出議案が2議案上程され、「本郷町・美和町における産業廃棄物処分場建設に反対する決議」は全会一致で可決され、「健康保険証の廃止を延期し、今の健康保険証の存続を求める意見書」は賛成少数で否決されました。会議に付された事件が全て審議されましたので、閉会しました。

岩国市議会議長 桑原 敏幸

いわくに市議会だよりの表紙写真を公募しています！

市民の皆様にも、より議会に興味を持ってもらうため、表紙写真の公募をしています。

発行予定日（6月1日、8月15日、11月15日、2月15日）の季節にあった風景や行事の様子を撮影した写真の御応募をお待ちしております。

詳しくはQRコードから公募要領を御覧いただくか、議会事務局までお問合せください。

議会事務局 議事課

TEL 29-5193



9月定例会の議案等に対する各議員の賛否を掲載しています

【全会一致で認定・可決された議案等】

【諮問】

人権擁護委員の推薦について（3件）

【決算】

- 令和4年度岩国市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度岩国市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度岩国市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度岩国市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度岩国市周東食肉センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度岩国市観光施設運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度錦帯橋管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度岩国市市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度岩国市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度岩国市工業用水道事業会計決算の認定について
- 令和4年度岩国市病院事業会計決算の認定について
- 令和4年度岩国市下水道事業会計決算の認定について
- 令和4年度岩国市簡易水道事業会計決算の認定について
- 令和4年度周陽環境整備組合一般会計歳入歳出決算の認定について

【議案】

- 令和4年度岩国市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和5年度岩国市一般会計補正予算（第4号）
- 令和5年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度岩国市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度岩国市観光施設運営事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度錦帯橋管理特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度岩国市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度岩国市病院事業会計補正予算（第1号）
- 岩国市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 岩国市印鑑条例の一部を改正する条例
- 岩国市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 岩国市法定外公共物管理条例及び岩国市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 岩国市営住宅条例の一部を改正する条例
- 灘小学校校屋内運動場改築工事請負契約の締結について

【議員提出議案】

- 岩国市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
- 錦帯橋の日を10月1日に定める決議
- 本郷町・美和町における産業廃棄物処分場建設に反対する決議

【本会議で賛否が分かれた議案】

(○=賛成、×=反対)

件名	議決結果	憲政会					志政いわくに					公明党議員団			共産党		市政改革		同志会		市民		声		リベ			
		植野正則	片岡勝則	貴船斉	桑原敏幸	瀬村尚央	武田伊佐雄	松川卓司	石本崇	川口隆之	藤重建治	藤本泰也	丸茂郁生	矢野匡亮	奥江徳成	桑田勝弘	中村豊	野本真由美	小川安士	長岡辰久	松田一志	広中信夫	細見正行	石原真	山本辰哉	重岡邦昭	広中英明	中村恒友
令和4年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康保険証の廃止を延期し、今の健康保険証の存続を求める意見書	否決	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○

※議長（桑原敏幸）は採決に加わりません。

※会派名の省略は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市政改革=市政改革クラブ、市民=市民クラブ・草の根、声=市民の声をきく会、リベ=リベラル岩国

一般質問 市政を聞く

9月定例会では、23人の議員により、市政全般にわたる幅広い質問が行われました。

※議員名に隣接したQRコードから、一般質問の動画を御覧いただけます。

こちらから詳細な質問内容を御確認いただけます。



会派代表質問



松田 一志
(日本共産党市議員)



問 米軍岩国基地の騒音対策について

1968年6月2日、九州大津学構内にファントム戦闘機が墜落事故を起こしたことを契機に、航空機事故などから市民の生命財産を守ることや騒音による生活環境破壊を防止することなどを求めて、基地沖合移設運動が始まったが、現在の基地の現状は滑走路が沖合に約1キロメートル移設され、基地は1・4倍に広がり、空母艦載機部隊を受け入れ、所属機は2倍以上に増強され120機超となっている。東アジア最大の基地にされてしまった結果、騒音被害は広がり、市街地上空での飛行も頻繁になっているが、実効ある騒音対策について説明を求めらる。

答 必要な軽減措置を米軍や国に求めていく

問 上関町の中間貯蔵施設について

問 錦帯橋デジタルセンター建設について

会派代表質問



片岡 勝則
(憲政会)



問 市長選挙への決意について

答 「岩国丸」の先頭に立ち、その舵取りを担う

市長就任以来、今日に至るまで、山積する課題へ職員と共に知恵を出し合い、市議会からの理解と支援をいただきながら、幾多の「選択」と「決断」をしてきた16年であったように思う。4期目の任期を終えようとしているが、「新しいまちづくり」は着々と進んでおり、私の「夢をかたちに」という政治理念を市民の皆様にお示しできているものと感じている。これまでのまちづくりの成果を生かし、「市民の皆様とのニーズと時代の流れに対応し」、「絶えず変革し」、「チャレンジをしていくんだ」という理念のもと、市長としてこれからは「重責と役割」を担いながら引き続き、「市政発展」と「市民福祉の向上」のため新たな挑戦をしていきたいと思う。

会派代表質問



藤重 建治
(志政いわくに)



問 次世代に引き継ぐまちづくりについて

今年3月、第3次岩国市総合計画が策定されたところだが、市長は今定例会で来年の市長選挙へのチャレンジを力強く表明された。4期16年、市長は「夢をかたちに」として市民福祉の向上に取り組んでこられたが、今後、次世代に引き継ぐまちづくりについての取組を伺う。

答 全力で取り組んでいく

「岩国市総合計画」や「岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、市民の皆さんと、「ともに歩み」、「ともに創り」、「ともに輝く」を基本に、今後も国や県の事業を積極的に活用し、基地問題、中心市街地及び中山間地域の活性化、企業誘致、そして、人口減少の抑制等に全力で取り組んでいく。

会派代表質問



桑田 勝弘
(公明党議員団)



問 将来を見据えた財産管理について

未利用財産の利活用や新施設の複合化にはコスト分析が必要。財務書類を活用した施設等ごとの「セグメント分析」について見解を問う。

答 財務書類のデータの活用を目指す

本市では一部の公共施設で試験的に財務書類のデータを用いてセグメント分析を行っている。将来的には公共施設マネジメント等への活用も考えられるが、膨大な作業量のため効率的な手法も調査し、研修やマニュアル整備等を通じて知識や経験を蓄積する。まずは客観的なデータや根拠に基づく予算編成等に活用できるように、引き続き取り組んでいきたい。



中村 恒友
(市民の声をきく会)



問 相続登記と相続等により取得した土地所有権の国庫帰属へ行政の指導に期待。「私道舗装等工事費補助金交付要綱」の申請手続緩和の広報に期待。災害時、早期避難場所への避難実績とその評価を問う。「教師の指示が生徒の行動を拘束、独自の立場でハザードマップの信頼性を検討すべき」東日本大震災の教訓を基に、教育現場での防災について問う。



細見 正行
(市政改革クラブ)



問 地域を水害から守ることに ついて(1)横山ポンプ場整備事業の進捗状況について(2)御庄地区の浸水対策について問う。横山地区では昨年の台風14号によりサイホン現象が発生。御庄地区では道路が冠水。
答 サイホン現象については山口県とも協力して改善に努めている。御庄地区では現状を踏まえて、ポンプの増設やポンプ場の改築を検討する。



中村 豊
(公明党議員団)



問 親亡き後に知っておきたい、迷わないといったことが分かるような冊子があれば、少しは親たちの不安感も和らぎ安心感も湧いてくる。冊子の作成について問う。
答 障害のある方やその家族への情報提供が重要と考えている。今後、障害者の家族会の勉強会にて配布した資料等を基に、冊子の作成を検討したい。



矢野 匡亮
(志政いわくに)



問 デジタル化の推進によって、行政サービスの維持と向上を目指す取組について。
答 デジタルを活用した、「行かなくてもいい窓口」「迷わない窓口」「書かなくてもいい窓口」を実現し市民サービスの向上を目指す。市民の皆様が、デジタルに触れる機会を創出し、「誰一人取り残さない」よう推し進める。



野本 真由美
(公明党議員団)



問 学校トイレへの生理用品設置の進捗状況について問う。
答 6月下旬にアンケート調査を行った。既に設置している学校は小学校4校、中学校1校の計5校あった。調査結果を踏まえ、小学校8校、中学校6校の計14校で実証事業を行う。期間は9月1日からの2か月間とし、実証後のアンケート結果を基に、今後の設置について検討する。



奥江 徳成
(公明党議員団)



問 マイナンバーカードの安全性と安全性の周知について問う。
答 マイナンバーカードは、文字をレーザーにより彫り込むとともに、複雑な彩紋パターンを施すなどの特殊加工を施しており、税金、健康診断の結果や医療情報等、プライバシー性の高い情報は格納されていない。安心してお使いいただけるよう広報、周知を行っている。



広中 英明
(市民クラブ・草の根)



問 岩国市には本郷山村留学センターという、ものすごくいい施設がある。市内で苦しんでいる290人も不登校児童・生徒を支援するために有効活用できないのか。
答 不登校児童の受入れに関しては面接の際に共同生活等について丁寧な説明を行い、本人及び保護者の十分な理解の下、希望される児童について引き続き受け入れていく。



長岡 辰久
(日本共産党市議団)



問 2009年から個人情報紙で自衛隊に提供されている。これは、個人の尊厳義務の憲法第13条、個人情報保護法第13条、第三者に提供することを禁じた個人情報の保護に関する条例に抵触する。希望しない人は除外できるようにすべき。
答 提供は法令上、問題ない。除外申請は他自治体を調査・研究する。その他の質問項目
・部活動の地域移行について
・駅前にごわい施設について



姫野敦子
(リベラル岩国)



問 高齢化などにより買物困難な方が年々増加している。市は移動販売車助成事業などを実施しているが、現状と今後の取組を問う。

答 中山間地域の小規模・高齢化集落へ、移動販売を行う業者に対し車両の購入や改造、燃料費などの補助をしている。今後も希望集落が予想されるため、新規参入を促進し、住み慣れた地域での生活を支援したい。



石本 崇
(志政いわくに)



問 美和町の上海電力メガソーラーとの協議について。

答 市長と事業者が協議を行い、水質検査の継続と異常気象などに迅速に対応するため、地元土木業者との協力体制の構築や施設内見学についても日程調整を行うとの回答があった。

問 シェルター整備について。

答 国の調査費計上や議会の意見書を重く受け止め、適切に対応する。



藤本泰也
(志政いわくに)



問 岩国市の都市計画区域で人口1万1,000人でありながら水道普及率が20%以下の地域は周東町だけである。人口減少に歯止めをかけるためにも水道整備が必要ではないか。

答 市全体の普及率約83%に対し、周東町は約20%であり、本地区の水道未普及地域の解消は大変重要な課題。可能な限り早い時期に体制を整備し、事業実施に取り組んでいきたい。



瀬村尚央
(憲政会)



問 イベントだけでなくもっと日常的な日米交流の必要性について問う。

答 外国人の方と直接会話をする、また、共同で作業するなどの機会を増やす等の工夫が必要である。

問 補助金に関し、市民のニーズに沿った使いやすいメニューの必要性について問う。

答 使いやすく、効果的な支援が可能となるように調査・研究をしていく。



川口隆之
(志政いわくに)



問 岩国市における安心・安全なまちづくりについて問う。

答 本市における刑法犯認知件数は減少傾向にあるが、近年、本市でも広域強盗事件が発生しており、防犯対策は引き続き取り組んでいくべき課題の一つであると認識している。

問 積極財政に向けての動きが地方でもあるが、市長の考えを問う。

答 一つの意見として伝えていく。



重岡 邦昭
(市民クラブ・草の根)



問 第11次岩国市交通安全計画、第5章、令和7年までに年間交通事故死者数ゼロ、また、踏切事故件数ゼロを目指す等の取組を質問。

問 上関町での中間貯蔵施設建設調査に対する市の基本姿勢を質問。

問 柱島3島定住政策の1つ、山口県知事による「元氣創出!どこでもトークin柱島」を実施する目的を質問。



貴船 斉
(憲政会)



問 岩国錦帯橋空港の沖縄線が特に好調。さらなる沖縄との交流促進に向けて増便の可能性について問う。

答 岩国錦帯橋空港の全体の便数は日米合同委員会において6枠の運航で承認されていることから、沖縄線の増便は現時点で困難である。市としては沖縄線の継続就航を最重要と考えており、今後、沖縄から岩国への誘客に取り組む。



武田 伊佐雄
(憲政会)



問 急傾斜地崩壊対策事業は県事業だが、受益者に求める分担金は市条例で定めている。近隣自治体や本市合併前の状況を鑑みると、市民の生命を守る観点から、条例の見直しが必要だと考える。市の見解を問う。

答 様々な課題があることは承知している。今後、分担金の在り方などについて関係部署と協議をしていく。



丸茂 郁生
(志政いわくに)



問 どちらか一方を民営化するとしている、えきまえ保育園とひがし保育園は、耐震性が低く、老朽化も著しいため、一日も早い整備を求める。

答 えきまえ保育園は整備後約40年、ひがし保育園は建築から約50年が経過している。両園とも耐震性が低く、老朽化が著しいため、建て替えに向けて、一日も早く安心・安全な保育環境整備に努めていく。



小川 安士
(日本共産党市議員)



問 JR美祿線は復旧するのか。

答 6月豪雨後、全線不通で復旧見通しは立っていない。

問 諸外国の線路はほとんど公有だが、日本は民間所有なので復旧が遅れるのではないか。線路も国道や県道にして管理し、高い利便性を確保するよう求めるべきではないか。

答 全ての鉄道を上下分離方式にするのは難しいのではないか。



広中 信夫
(市政改革クラブ)



問 中山間地域では、特に猿による農作物被害と威嚇などの精神的被害が多発している。特に被害レベルが高い杭名・多田間の人身被害防止の対応と大型捕獲おりの計画的な設置が必要と思うが、本市の考えを問う。

答 杭名・多田間に関しては、地元調整後、速やかに対応をする。その他の地域では、地域の協力と調整ができれば前向きに設置を行っていく。



議員提出議案について

9月定例会において、3件の議員提出議案が可決されました。

1 議員提出議案第5号 岩国市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例

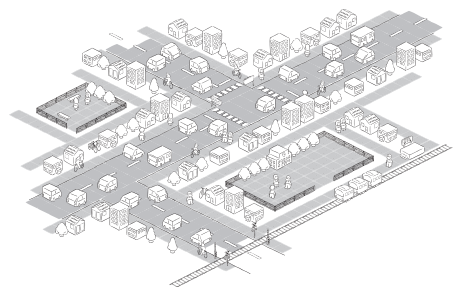


《提案説明》志政いわくに 藤本泰也議員

地方自治法第203条において、議員の費用弁償は、公務としての議会活動に要した経費を支給することを想定している。

市議会の会派代表者会議において、他の特別職と同様に議員にも市内旅費の費用弁償を支給することの提案がなされた。議会課題検討会を設置し、検討を進めた結果、総務省のデータによれば、岩国市は全国の市町村の平均面積の約4倍もの広大な市域を有していることなどから、市内旅費を支給する必要性は他市に比べて格段に高いと判断された。

本条例案は、本会議、委員会、会派代表者会議及び全員協議会に出席した場合に限り、議員の住所から議事堂までの距離が片道2キロメートルを超える場合には、国家公務員等の旅費に関する法律第19条に準じ、その往復距離に1キロメートル当たり37円の額を乗じた額を実費相当分として支給することとする。



2 議員提出議案第6号 錦帯橋の日を10月1日に定める決議



《提案説明》 憲政会 松川卓司議員

錦帯橋は、延宝元年（1673年）岩国藩3代藩主吉川広嘉公により創建され、今年で創建350年を迎える。

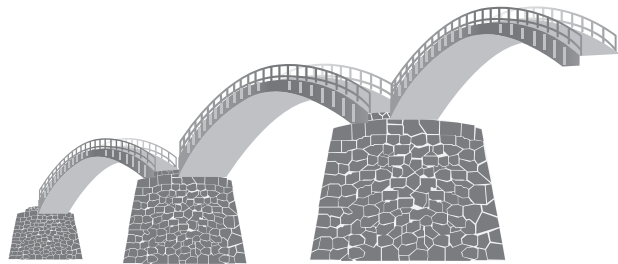
その後、現在に至るまで幾度となく架け替えを繰り返し、昭和25年のキジア台風による洪水で流失するまで、その創建時の威容を保ってきた。昭和の再建工事においては、当時の建設省等との協議の中で、「経済的価値のないアーチ形を廃し普通の近代橋とすべし」など、原形復旧に対し多くの厳しい意見が出されたが、岩国市民の強い要望により木造の錦帯橋として再建がなされた。その後、平成13年から16年にかけて「平成の架替」を行い、現在に至っている。

錦帯橋は、日本三名橋の一つに数えられ、日本を代表する木造橋である。その繊細な木組みの技法による五連のアーチ構造は、四季折々優美な景観をつくり出し、その独創的で美しい姿により国の名勝として文化財指定を受け、全国的に有名な観光地であるとともに、ランドセルを背負った児童が通学するなど、市民の暮らしに根づく橋として愛されてきた。

このように錦帯橋に対する市民の思いは、350年もの間連綿と受け継がれ、岩国のシンボルとして位置づけられており、官民挙げて世界文化遺産登録を目指し、様々な取組を進めている。

今年創建350年を迎えるに当たり、岩国市民が錦帯橋の存在を再認識し、その歴史と伝統を後世に継承していくことが重要であると考え、かかる機運を醸成するために、節目の年を祝い、世界文化遺産登録を促進させる必要がある。あわせて、「御用所日記」によれば延宝元年10月朔日に「橋今晚迄二てすきと相整候由」とあり、諸説ある創建の日の中で10月1日が有力である。

よって、本市議会は、10月1日を「錦帯橋の日」として定めることを決議する。



3 議員提出議案第7号 本郷町・美和町における産業廃棄物処分場建設に反対する決議



《提案説明》 憲政会 片岡勝則議員

本郷町・美和町における産業廃棄物処分場の建設計画は、その予定地が錦川に注ぎ込む本郷川の源流に隣接していることから、錦川下流域の安全を揺るがしかねない大きな問題である。旧本郷村、旧美和町、旧錦町、旧美川町及び旧岩国市のそれぞれの議会では、平成11年3月の定例会などにおいて建設反対の決議を行っている。合併後も、本郷町の自治会連合会が山口県に建設反対の決議書を提出するなど、粘り強く活動が行われてきた。

本年7月に民間事業者が新たに山口県に提出した産業廃棄物処分場の設置許可申請書が県に受理されたことを受け、本郷町自治会連合会、美和地域自治会連合会及び本郷川を守る会から、同年8月に改めて本市議会に建設反対の要請書が提出された。

処分場の建設予定地は山間部の急傾斜地であり、集中豪雨や地震などの災害に伴い大規模な環境破壊が起こる危険性があるとともに、産業廃棄物に内包される有害物質が地中に浸透し本郷川・錦川に流出することで、市民生活に悪影響を及ぼすことが懸念される。

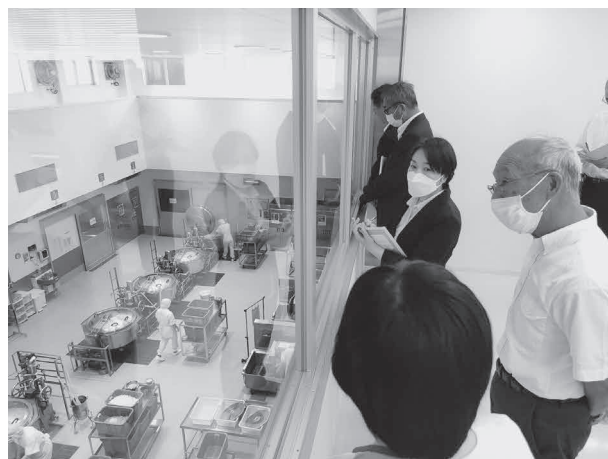
岩国市議会は、清流錦川を中心とする豊かな自然を次世代に引き継ぎ、市民の安心・安全を守るため、本郷町・美和町における産業廃棄物処分場建設に断固反対することをここに決議する。

「教育民生常任委員会」 行政視察報告(7月20日(木))

平成29年に整備された岩国市西部学校給食センターでは、15小学校、5中学校、1園に対し給食を配送しており、大量調理が可能な炊飯設備やオーブン、冷却機などが整備されていることから1日当たり3,000食の調理が可能で、効率的な調理が行われていることを確認しました。また、アレルギーがある子どもと同じ給食を食べることができるよう代替食材を使うなどの配慮や、異物混入を防ぐための取組が行われていました。また、食材の地元調達を要望しましたが、大量の食材が必要となることなど課題が多いことを確認しました。

岩国駅前に整備される図書館機能の参考として伺った周南市立徳山駅前図書館は平成30年に整備されており、直近の指定管理料は年間約9,700万円、年間約178万人の方に来館いただいているとの説明がありました。また、図書館の利用促進や図書館を中心とした地域活性化策として、蚤の市が企画され1万人以上の来客があるとの説明を受けました。

本委員会は、このたびの視察で得られた貴重な知見を今後の委員会活動に生かし、市政に反映していきます。



「経済常任委員会」 商工会議所との意見交換会(8月8日(火))

本委員会は令和5年8月8日に岩国商工会議所との意見交換会を実施しました。

まず、岩国商工会議所から経済産業大臣や県への要望内容についての説明があり、岩国短期大学と連携した取組や市内企業への視察の要望等について伺いました。

そのほかに、委員からは市内経済の状況、高校生の就職支援、外国人労働者等について質疑があり、岩国商工会議所の安本会頭をはじめ役員や各部会長の皆様と活発な意見交換、情報共有を行うことができました。

今回の意見交換会は、商工会議所や市内の状況を把握することができ、大変有意義な機会となりました。今後も、本委員会は商工会議所や関係機関と連携し、市内経済の活性化に向けて調査を進めてまいります。



委員会審査報告

経済常任委員会・教育民生常任委員会・建設常任委員会・総務常任委員会

経済

委員長
副委員長
委員

丸茂 小川
石原 重岡
中村

郁生 安士
真・片岡 勝則
邦昭・瀬村 尚央
豊



認定第1号 令和4年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 ふるさと応援寄附PR事業（ふるさと基金）に関し、令和4年度の実績と今後の展望について問う。

答 令和4年度の寄附金額は1億3,459万9,000円で、4,840人からの寄附があった。今後さらに事業を推進するために、特に本市の豊かな自然を活用した、記憶に残る体験を通して岩国市を知ってもらい、また来ていただけるような体験型返礼品の開発に力を入れていきたい。

問 ワークেশيون推進事業に関し、どのように企業を呼び込むのか問う。

答 これまで地方への進出に興味のある東京都の企業を10社ほど訪問し、誘致に取り組んできた。今後、市内の企業や大企業を中心に訪問し、ワークেশيونでの利用を提

案するとともに、ホームページ等での情報発信を引き続き行い、事業のPRに努めていく。

問 岩国錦帯橋空港利用促進費に関し、空港を活用した観光振興策と、那覇空港をハブ空港として、乗り継いだ外国人を本市に呼び込む構想について問う。

答 沖縄線就航当初から、相互交流事業として、岩国・沖縄双方からの利用において宿泊費の助成を行っている。沖縄線の利用を増やす取組として、修学旅行への支援も検討しており、沖縄観光コンベンションビューローとも協議をしながら取組を進めていきたい。那覇空港には国際線が就航しており、沖縄県に観光で来ている外国人に向けたPRを推進することで、インバウンドの集客にも努めていきたい。

教育民生

委員長
副委員長
委員

矢野 匡亮
長岡 辰久
川口 隆之・桑原 敏幸
野本真由美・細見 正行
松川 卓司



認定第1号 令和4年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 令和4年度の子宮頸がん予防のHPVワクチンの無料接種の実績について問う。

答 定期接種の対象者は小学6年生から高校1年生相当の女子で接種率は21.6%。また、平成25年6月以降、積極的に接種を勧めることが差し控えられた時期があったことにより接種を逃した方に機会を提供するための接種、いわゆるキャッチアップ接種も令和4年4月から実施しており、対象者には個別通知をしている。

問 HPVワクチンの接種を逃した方のための接種の期限が令和7年3月31日までであるが、今後の対策について問う。

答 未接種者に対する再度のお知らせも引き続き行っていきたい。また、積極的に接種を勧めることが差し控えられていた期間に、任意接種により費用を自

己負担した方に対する償還助成制度も設けられているので、周知に努めたい。

問 不登校児童・生徒に寄り添った支援を行う心の支援員の人数や対応時間、予算などは十分なのか。

答 いずれも足りていない状況であると認識していることから、さらに支援員を増やすことで対応時間を増やし、学校及び児童・生徒の困り感を少しでも軽減していきたい。

問 家庭訪問した際に児童・生徒が学校に行く意思を示したとき、学校まで一緒に行つてあげることは重要だと思ふ。遠方在住の児童・生徒の場合の対応について問う。

答 現状、車に同乗させる対応は難しい。今後、学校まで教員が同行できるよう、交通費の支給に加え、傷害保険の加入について検討していきたい。

スマートフォンなどでそれぞれのQRコードを読み込んでいただくと、より詳細な内容が御覧いただけます。

9月25日の本会議で、各常任委員会の委員長から審査報告がありました。
主な審査内容と結果を要約して掲載しています。

建設

委員長 山本
副委員長 広中
委員 植野

藤本 中村

辰哉 英明 正則・奥江 徳成
恒友・姫野 敦子
泰也



認定第1号 令和4年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 環境衛生費の動物保護管理事業の飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金に関し、本助成金の各年度の決算額が予算額の半分にも達していないのは、市民にとって制度が利用しづらいからだと言わざるを得ないが、担当課としての考えを問う。

答 利用者等からの様々な意見を受け、令和3年度に手術後の耳のカットを義務付けしていたものを推奨に改め、今年度からは保護器の貸出制度を設けるなど、より利用しやすい制度に改めている。

問 猫の殺処分ゼロを目指す議員有志の会15人の会員で、市に飼い主のいない猫を保護する取組強化を要望した。その上で、まずは飼い主のいない猫を捕獲して、不妊・去勢手術後に、元の場所に戻すT

NR活動を、市として保護猫活動団体と協働して取り組む考えがあるのかを問う。

答 殺処分される猫を少なくするためにも、TNR活動は重要であると考えている。今後行政が協働していくための環境整備につき研究していきたい。

問 土木費の道路橋りょう費について、災害時や平常時の業務におけるドローンの活用実績について問う。

答 台風の被害発生時における二次災害防止のためにドローンで空撮した画像や映像により、人が立ち入れない被災現場で行う速やかな状況確認、容易に近づけない橋りょうの点検や補修後の経過確認、護岸洗掘の状況調査及び各種事業に係る調査や広報写真の撮影など、様々な分野で活用している。

総務

委員長 武田伊佐雄
副委員長 桑田 勝弘

委員 石本 崇・貴船 斉
広中 信夫・藤重 建治
松田 一志



認定第1号 令和4年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 飛行艇ミュージアム(仮称)誘致事業に関し、何年もの間機運の醸成に終始しているが、より具体的な取組についてどのように考えているのか。

答 先般、防衛省に出向き、これまでの本市の取組結果を伝えるとともに、改めて要望を行ったところであり、今後も要望活動を続けていく所存である。

また、庁内において具体的な取組を検討するプロジェクトチームを改めて組織したところであり、メンバーは、チーフとして総合政策部長、副チーフとして政策企画課長、チーム員として総務課、基地政策課、商工振興課、観光振興課、シティプロモーション課、都市拠点整備課、文化財課岩国徳古館の所属長としている。

今後は、10月をめどに早急に庁内のプロジェクト会議を開いてロードマップを作成し、効果的な要望活動に結びつけていきたい。

問 他の自治体の事例では、国の施設を誘致するために、民間団体が様々なイベントを企画したり、関係する国会議員が議員連盟をつくって取り組んでいるところもある。そういったアプローチについてはどのように考えているのか。

答 国が事業主体となって広報館を整備するというハードルの高いプロジェクトであり、行政だけでなく、議員の皆様や民間の方々とも協働しながら、粘り強く取り組んでいきたい。

反対討論があったため採決

結果賛成多数で可決すべきものと決定。

(賛成5人・反対1人)

11月臨時会のお知らせ(予定)

11月16日(木)	本会議
-----------	-----

12月定例会のお知らせ(予定)

11月28日(火)	本会議(開会 議案等上程 説明 質疑 委員会付託)
12月7日(木)	本会議(一般質問)
8日(金)	本会議(一般質問)
11日(月)	本会議(一般質問)
12日(火)	本会議(一般質問) ※予備日
13日(水)	本会議(一般質問) ※予備日
14日(木)	経済常任委員会
15日(金)	教育民生常任委員会
18日(月)	建設常任委員会
19日(火)	総務常任委員会
22日(金)	本会議(委員長報告 質疑 討論 採決 閉会)

※会期日程は、変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局にお問合せください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)



議場内に、心が和む「生け花」 ～9月定例会～

9月定例会一般質問の間、「池坊岩国支部」の方々に生け花を展示していただきました。

花材(オミナエシ、リンドウ、スプレーバラ、タマシダ、エノコログサ、ストレリチア、クルクマ、ナンテン)



議会広報特別委員会
委員長 武田伊佐雄
副委員長 野本真由美
委員 川口隆之
長岡辰久
広中信夫
広中英明
松川卓司
矢野匡亮

副委員長 野本真由美

きます。

6月定例会より本会議のインターネット配信がスタート。本会議の様子が全国に配信されるという緊張感の中での議会となりました。今後も皆様に議会をより身近に感じていただけるよう、広報の在り方を検討していきます。

「暑と寒さも彼岸まで」。最近 は朝晩がようやく過ごしやすい になりました。酷暑の夏もゆっく りとですが秋に向かっているよ うです。季節が変化するように 議会広報の在り方も時代ととも に変化をしております。

編集後記

目の不自由な方へ

いわくに市議会だより See 議会の音声データを御希望される方は、議会事務局にお問合せください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行/岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5190 FAX(0827)21-1001
編集/議会広報特別委員会 印刷/フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>



古紙パルプ配合率
70%再生紙を使用

※QRコードは縷デンソーウェブの
登録商標です。

いわくに市議会だより 令和5年(2023年)11月15日号 ㊤